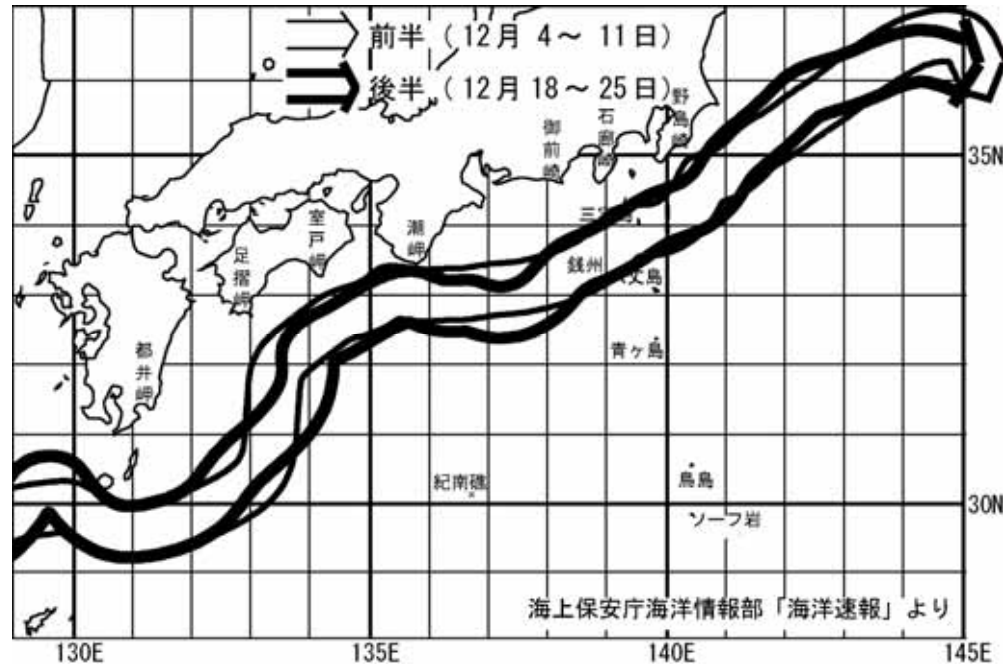


漁海況月報

No. 12 ~ 12月31日

平成26年12月1日
 静岡県水産技術研究所
 (電話 054-627-1815)
 静岡県水産術研究所 伊豆分場
 (電話 0558-22-0835)



12月定地水温の旬平均値() (下段は平年偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	16.2	16.6	17.2	15.8	16.0	16.6	14.7
	-1.3	-1.4	-0.2	-2.2	-1.6	-0.2	-1.1
中旬	14.8	15.8	15.5	15.2	13.7	14.6	11.7
	-1.9	-1.3	-0.9	-1.7	-3.0	-1.4	-2.8
下旬	14.1	15.3	15.0	13.7	14.1	14.1	11.9
	-1.5	-1.0	-0.7	-2.3	-1.5	-0.8	-1.8
月	15.0	15.9	16.0	15.0	14.6	15.3	12.9
	-1.5	-1.2	-0.4	-1.9	-2.0	-0.6	-1.8

[黒潮流路]

前半の黒潮は、遠州灘沖の33.5°N付近を東に進み、三宅島付近を通過した後、房総半島へ沖に流れた。後半は、遠州灘沖で33°N付近に小蛇行した後、北東に進み、その後三宅島付近を通過して房総半島沖へ流れた。

[県下沿岸域]

相模湾側では、上旬に下田で「平年並」の他は、「やや低め」~「低め」であった。駿河湾側では、中旬に沼津で「かなり低め」の他は「低め」であった。駿河湾西部では、上旬は「平年並」~「やや低め」、中旬は「やや低め」~「かなり低め」、下旬は「やや低め」~「低め」であった。

[竿釣カツオ]

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオ(近海船+沿岸船)の水揚げは無かった。

竿釣り(近海船+沿岸船)カツオ水揚量 (県内主要5港計)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	水揚/隻(トン)	平均単価(円/Kg)
26年12月上旬	0	0	-	-
中旬	0	0	-	-
下旬	0	0	-	-
26年12月計	0	0	-	-
25年12月計	2	3	1.5	679
24年12月計	0	0	-	-

[定置網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は390トンで前年の同漁場の水揚量(291トン)の1.3倍となった。また、1か統あたりの水揚量は55.8トンで前年(41.5トン)の1.3倍、平年(昭和57~平成25年の平均45.1トン)の1.2倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとスルメイカ、さば類、ハガツオの順に多かった。

スルメイカは北川漁場で70%を占めた。さば類、ハガツオは北川漁場で50%前後であった。ハガツオは月の前半に集中した。さば類はゴマサバ主体で、ブリは銘柄「ぶり」主体であった。サンマは3.6トンで、前年比0.3倍であった。

漁場別の漁獲量では、北川漁場が201.3トン(スルメイカ、さば類、ハガツオなど)、富戸漁場が56.5トン(さば類、スルメイカ、ハガツオなど)、川奈漁場が48.5トン(さば類、スルメイカ、ブリなど)の順に多かった。

伊豆半島東岸大型定置網7か統で多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
スルメイカ	143.4	1.2	4.5	北川、富戸、川奈
さば類	122.6	2.3	1.5	北川、富戸、川奈
ハガツオ	55.9	396.8	-	北川、伊豆山、谷津
マルソウダ	10.4	6.2	1.3	北川、川奈、富戸
ブリ	9.2	6.7	2.7	川奈、谷津、北川

[サバたもすくい・棒受網]

小川港ではゴマサバの水揚げが85トン(前年同月比17%)で、マサバの水揚げは無かった。1隻あたり水揚げ量は14.1トン(前年同月比41%)であった。1kgあたり平均単価は116円で前月(83円)、前年同月(91円)を上回った。

今月は棒受網のみの操業で、漁場は、上旬は三本、中旬は三本と三宅に形成され、33cmにモードを持つ3歳魚主体であった。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
26年12月上旬	-	7	1	1	-	7.0	-	225	三本
中旬	-	78	2	5	-	15.5	-	107	三本、三宅
下旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26年12月計	-	85	3	6	-	14.1	-	116	三本、三宅
25年12月計	-	511	6	15	-	34.0	-	91	三本、三宅
24年12月計	-	262	4	9	-	29.1	-	59	三本

水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。表中の「-」は漁獲が無かったことを示す。

[サクラエビ船曳網]

12月の出漁日数は5日で、漁獲量は91.4トン、漁場は主に焼津~大井川沖に形成された。漁獲されたサクラエビは、体長30mmにモードを持つ0歳エビと体長38mmにモードを持つ1歳エビで構成され、全漁獲尾数の年齢別割合は0歳エビが4割、1歳エビが6割であった。

平成26年秋漁は12月24日が最終出漁日となり、出漁日数は12日(前年秋漁は16日)、漁獲量は227.9トン(同440.6トン)であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成26年12月 上旬	17	2	平均 145	焼津~大井川沖
中旬	56	2	平均 470	焼津~大井川沖
下旬	17	1	平均 291	焼津~大井川沖
平成26年12月 計	91	5	平均 305	焼津~大井川沖
平成25年12月 計	312	8	平均 650	焼津~大井川沖
平成24年12月 計	234	8	平均 489	三保~相良沖・戸田沖

水揚量については、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が150kg、遠州灘が336kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は271kgは前年同期(260kg)の104%と同水準で、平年同期(過去5か年平均:208kg)

の130%と大幅に上回った。

総水揚量は304トンで前年同期(260トン)の117%、平年同期(181トン)の168%と、前年同期、平年同期ともに上回った。平均単価は784円/kgと前年同期(917円/kg)の85%と下回ったが、平年同期(777円/kg)の101%と同水準であった。

シラス水揚量(主要6港計)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	23.3	5	52	448	676
舞 阪	131.8	9	340	388	685
福 田	65.7	10	250	263	793
御前崎	24.3	8	88	276	781
吉 田	43.6	11	233	187	872
静 岡	15.3	8	160	96	1,512
平成26年12月計	304.0	51	1,123	271	784
平成25年12月計	259.7	52	1,000	260	917
平成24年12月計	233.4	50	914	255	604

各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。
平年同期:過去5か年(平成21~25年)平均値

[まき網]

小川港におけるマイワシの水揚げは無く(平年同期12.7トン)、カタクチイワシの水揚げは28.4トンであった。沼津港ではマイワシの水揚げが3.1トンで平年同期(16.7トン)の18%と下回った。静岡港ではマイワシの水揚げは無く(平年同期の水揚げ実績なし)、カタクチイワシの水揚げも無かった(平年同期の水揚げ実績なし)。伊東港ではマイワシの水揚げは35.9トンで平年同期(170.2トン)の21%と下回り、カタクチイワシの漁獲は無かった。

平年同期:過去5か年(平成21~25年)の平均値

[調査船駿河丸の動向]

12月4日 ~ 12月5日	地先定線観測調査	(2日間)
12月8日	公共用水域水質調査	(1日間)
12月10日 ~ 12月11日	定線地先観測調査及びハダカイワシ資源化(MOHT)調査	(2日間)
12月15日 ~ 12月16日	ハダカイワシ資源化(MOHT)調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

